

平成 28 年度

第 1 回教育課程編成委員会 議事録

平成 28 年度 第 1 回 教育課程編成委員会議事録

日時：平成 28 年 9 月 30 日（金）19：00～19：50

場所：長崎医療技術専門学校 本館 1 階 会議室

1) 挨拶（校長）

2) 出席者紹介

3) 前回会議後の報告

- ・長崎医療技術専門学校 3 つのポリシーの紹介

4) 開会

- ・教育課程変性委員会規定第 6 条に規定される出席者数を満たしているため、本会は成立する。

5) 実習指導要領の変更について

- ・平成 28 年度より臨床実習Ⅱ実習指導要綱を変更した

変更点：①実習の評価について、前年度の A B C D の 4 段階から今年度は A B C D E の 5 段階に変更

②実習の成績について、今まで 100%実習指導者に付けてもらっていたが、60%を指導者、40%を学校で評価をするようにした。

③臨床実習の評定は、実習指導者が付けたもの、教員が付けたもの、提出物をそれぞれ点数化して、1 期、2 期を合算して成績を点数化して職員会議で決定する。

④課題についてはレポートを止め、実習日誌を細分化したデイリーノートの提出とした。

6) 意見交換

- ・指導者への変更の周知の方法はどうしているのか？
→4 月に臨床実習指導者会議を実施し、指導者に変更点の説明をした
- ・厳しい変更点に感じるが、指導者の反応はどうか？
→概ね受け入れていただいたと思う
- ・理学療法学科と作業療法学科の示している評定基準の違いは何か？
→もともと理学療法士協会と作業療法士協会が示している内容が違う
- ・学校が付ける成績のうち面談の基準はあるのか？
→基準のシートを作っている
- ・以前の方法から現在の方法に変更して、学生や指導者の反応はどうか？
→現場の捉え方によって反応の差が大きい
- ・同じ実習先で複数の学校を受け入れている場合、実習の方法が違う場合も出てくるのか？
→ありえる
- ・他校もデイリーノートが多くなってきているのか？
→それぞれの学校でまちまちである
- ・実習先によっては、レポート重視型でやるということもあるか？
→ある。従来のレポート型に慣れているので、そちら寄りになることもある
- ・実習先がどういった指導をしているかのチェックにもなるのではないか？
→デイリーノートが浸透すれば日々の指導内容が学校側で把握しやすい
- ・指導者側に見本となるようなものを提示できないか？

→数ページ程度のものは見せて説明している

- ・実際のデイリーノートには、細かくコメントが書き込まれている。大変ではないか？

→なるべく短時間で指導は終わるようお願いはしている

- ・このやり方で理学療法と作業療法で書き方の難易度に差は出ないのか？

→特に差はない。運動機能だけでなく精神的な反応も書くことができる

- ・学生も実習でいきなり書き方を変更するのではなく、授業の中でステップアップするようにしたらよいと思う

→授業の中で説明している。また、3年生を受け入れている施設は臨床実習指導者会議で変更を理解してもらっているが、欠席した施設や2年生のみ受け入れている施設には教員が直接訪問して説明した

- ・実際に働き出してから記録するものは、デイリーノートに近いものになるのか？

→実際の業務に近いものになる。実習と業務との繋がりを考えた制度を学校側が考えていくべきと考えている

7) 総評

新しい実習方法の導入については、教育機関や実習施設においても温度差があると思うので慎重に進めていきたい

8) 閉会